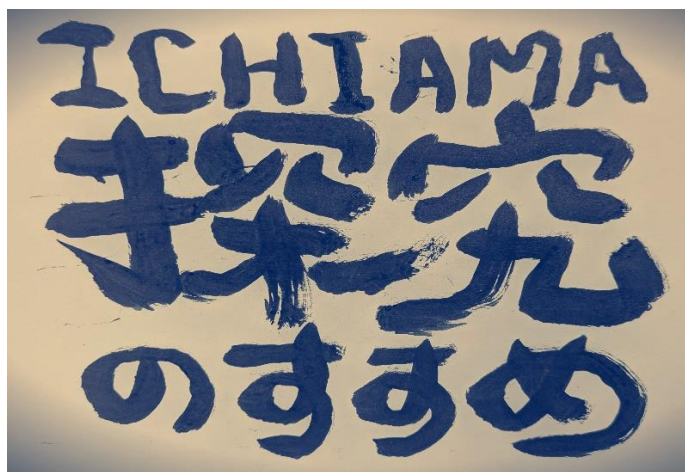




尼崎市立尼崎高等学校 探究通信
令和8年9月17日 第2号

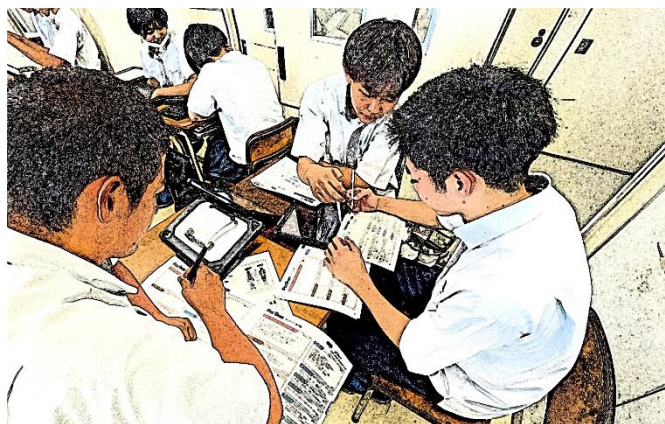
身近な困りごとから

ビジネスプランを提案

2年生 体育科 普通科文系クラス

2年生の体育科、普通科文系クラスは、身近な困りごとから課題を解決するビジネスプランを作成しています。10月8日の中間発表会に向け、試行錯誤中です。

電車の混雑 解消したい



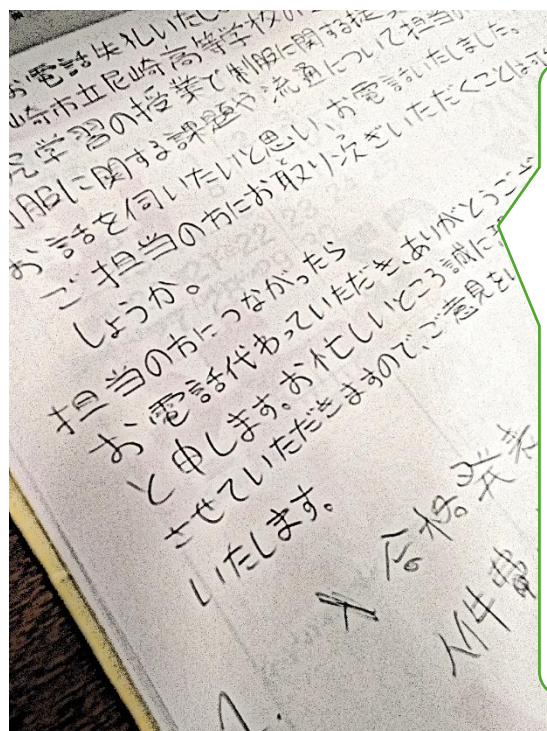
2年B組のチーム「ますすか」は、電車通学をしている生徒が、特に雨の日に電車内が混雑することから、電車の混雑を解消するプランを考え中です。

まずは、座席の間を空けずに乗れば、もっと多くの人が座れるはずだと考え、阪急や阪神のような座席の仕切りをJRにも導入することを提案したいと考えています。また、電車のサイズを大きくすれば、出入口も大きくなり、混雑解消につながるのではないかと考えたものの、現実的には難

しいと思い、実際に電車をつくっている会社に現状を問い合わせる予定です。Yさんは「アンケートをして、みんながどう思っているのかも知りたい。また、電車のサイズを大きくするにはどのぐらいのコストがかかるのかも聞いてみたい」と話していました。

制服の着心地を良くするには？

2年G組4班は、制服が暑いと感じることがあり、「制服の着心地を良くするには？」をテーマにしました。Oさんは実際に、尼崎市内の販売業者に電話で取材。制服の企画段階から納品までの行程のどこで時間や費用がかかるか、どうやって価格をおさえる工夫をしているかなどを聞くと、担当の方がていねいに回答してくださったとのこと。Oさんは「さまざまな立場の方の声を聞いて、着心地の良い制服を提案したい」と話していました。



Oさんが電話取材前につくった想定問答メモ。
入念な準備をしていたことが伺えます。

